

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 31-087



使用評価マニュアルCASBEE-戸建（新築）2016年版

バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.1

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	一部確定 仮 一部確定
竣工年月	2019年12月	予定	<備考>		
建設地	横浜市青葉区あかね台一丁目				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	鉄骨造	確定			
階数	2		評価の実施日	2019年8月22日	
敷地面積	205 m ²	確定	作成者	渡邊 夏人	
建築面積	79 m ²	確定	確認日	2019年8月22日	
延床面積	144 m ²		確認者	榎崎 高司	
世帯人数	2	確定			



2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.3**

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 3.4

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 4.1

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.5**

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 3.1

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
居室の窓を大きくとり、豊かな自然採光が得られる計画とした。 自然石の様な風合いを醸し出すオリジナル外壁：ダインコンクリートを採用し、街並みや自然との調和に配慮した。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 断熱等性能等級4を満たす断熱仕様による冷暖房負荷の軽減 換気通風、日射調整への配慮 室内に採用する建材は全てホルムアルデヒド放散等級Fをクリア 1階と2階のバルコニーに面する開口部全てに防犯ガラスの設置	Q2 長く使い続ける 地盤調査に基づき安全な基礎方式を採用 耐震等級3を満たす堅牢な軽量鉄骨ブレースパネル工法の採用 長期優良住宅認定基準を満たす劣化対策を行い、構造躯体を高耐久化	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 周辺の民家との調和を図り、周囲に溶け込む色彩の外壁等を採用
LR1 エネルギーと水を大切に使う 断熱等性能等級4を満たす断熱仕様の採用に加え、5.07kWの太陽光発電装置を屋根に搭載 燃料電池の採用 照明ランプは全てLEDを採用	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 工場生産で発生する廃材の再資源化に取り組み、2002年から「単純焼却ゼロ・埋め立て処分ゼロ」のゼロエミッションを達成、リサイクルの質に配慮しながら維持・継続している 解体・施工現場からの廃棄物はプレカット部材の採用や建設リサイクル法に基づいた再資源化を行うことと削減に努めている	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 道路側に樹木を設け街並みにおける緑化に配慮



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号()を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 46 %削減



一次エネルギー消費量基準 適合

外皮基準 適合

0

受付日 2019年8月22日

誘導基準

エネルギーを大切に使う (建物の工夫 設備の性能 維持管理と運用)

BEI=0.54

パナソニック製HEMS AiSEG2を設置

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

室内環境対策 (暑さ・寒さ)

断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

室内環境を快適・健康・安心にする (健康と安全・安心)

主要な居室において適切な冷暖房計画を行い、ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている

その他の対策 (自然材料・通風の工夫など)

工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

災害に備える (災害に備える 長寿命に対する基本性能 地域の安全・安心)

日本住宅性能表示基準「3-1 劣化対策等級」における等級3を満たす

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

まちなみ・生態系を豊かにする (まちなみ・景観への配慮 生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 31-087



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)

個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.3
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.4
1 暑さ・寒さ		3.3	0.50	3.3
1.1 基本性能		4.2	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心 暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心 暑さ・寒さ	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		2.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		1.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.5	0.30	3.5
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 災害に備える	3.0	0.25	-
3 明るさ		3.0	0.10	3.0
3.1 昼光の利用		3.0	1.00	-
4 静かさ		4.0	0.10	4.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.1
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災 長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.4
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり 生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり 生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災 地域の安全・安心	3.0	0.20	3.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.5
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.4
1 総合的な省エネ		4.6	0.75	4.6
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能 建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 設備の性能	1.0	0.10	-
2 水の節約		3.7	0.15	3.7
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		4.0	0.10	4.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 維持管理と運用	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 維持管理と運用	5.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.1
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		3.0	-	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	1.00	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.1
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-